

2016(平成28)年7月25日

報道関係者 各位

株式会社フジタ
代表取締役社長 奥村洋治

第67回土木施工技術研究発表会を開催

大和ハウスグループの株式会社フジタ（本社：東京都渋谷区、社長：奥村洋治）は、このほど「第67回土木施工技術研究発表会」を開催しましたのでお知らせします。

1. 概要

日時：2016年7月20日（水） 9：30～17：00
場所：更生保護会館 4階大会議室（渋谷区千駄ヶ谷）
発表数：11編（投稿論文数：25編）
講演：1題
出席者：147名（本社、全国8支店・支社・事業部、グループ会社）

2. 開催の趣旨

この発表会は、土木の施工技術に関する優れた研究・提案、新技術採用など、最新の実施事例の報告と情報交換を通じて、技術力・提案力の向上と伝承を図ることを目的としています。

3. 発表内容

開会にあたり金子賜副社長の挨拶があり、続いて全店から提出された25編のうち厳選された11編の施工技術に関する研究論文が発表され、その発表内容は、難条件での技術的課題克服、品質・性能の向上、無人化施工、維持更新、最新の技術開発についてなど幅広い分野に及び、技術伝承の観点から意義深い情報交換の場となりました。

続いて京都大学工学研究科教授藤井聡教授による『「国土学」が日本を救う』のご講演の後、各発表に対する講評ならびに表彰式を行い、1編を最優秀論文、2編を優秀論文として表彰いたしました。

金子副社長挨拶

2011年3月11日に東日本大震災が発生し5年4か月が過ぎた。今年の4月14日には熊本で震度7の地震が発生し、長引く余震と長雨による大規模土砂災害が発生した。改めて、日本国土の脆弱な体質を強くし、今後の自然災害に備えた対策、優良なインフラ整備を急がなければならないと感じている。また、こうして世間の



建設業界への期待感が高まる一方で、少子高齢化による担い手不足が大きな問題となっている。これに対応するために、我々も生産性を向上させていかなければならない。

この土木施工技術研究発表会は今から55年前の1961年に始まった。その目的は、土木施工の最前線で課題克服のために研究し、挑戦してきた結果を発表することである。成果と今後の課題について振り返りながら、課題解決思考や改善方法を学び取り、技術のさらなる向上と技術伝承が図られることを期待している。

4. 表彰

- 最優秀賞：大山ケーブルカー設備更新作業所・江原 季映「大山ケーブルカーにおける土木構造物の健全度調査と大規模設備更新」
- 優秀賞：王子幹線作業所・渋谷 憲昭「シールド工事における密閉型到達方法の施工報告～道路陥没事故を乗り越えて～」
- 優秀賞：中部横断富沢IC作業所・長谷川 光正「現場条件に適合した軟弱地盤対策の選定」



発表会場の様子

【お問い合わせ先】

株式会社フジタ

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

広報室／門田

TEL 03-3402-1911